Nishitokyo City
# 西東京市 議会だより

第41号
平成22年2月15日
(2010年)

〒188-8666 西東京市南町5-6-13　042-464-1311　編集／議会報編集委員会　発行／西東京市議会



平成21年
**第4回臨時会**
**第4回定例会**

「冬の東大農場」
○撮影：下田源雄(みなお)さん
（田無町在住）
雪景色となった東大農場のポプラ並木です。
（平成20年2月4日撮影）

## 市議会議員の期末手当を通年で 0.35 月分カット

### ～議員提案により議員報酬に関する条例を一部改正～

第４回臨時会において市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正を議員提出議案として提出し、可決しました。議案の内容は、６月期の議員の期末手当を 0.2 月分、12 月期を 0.15 月分減額するもので、平成 21 年 12 月の期末手当から適用しました。

⇒詳しくは７面「臨時会の審議から」をご覧ください。

## 市議会議員、特別職等の給料等を改定

### ～議員報酬、給与等に関する条例を一部改正～

第４回定例会において市議会議員の議員報酬のほか、市長、副市長及び常勤の監査委員並びに教育長の給料を改定するための条例を賛成多数で可決しました。これにより、一般議員は月額１万円、市長は月額３万７千円の減額となります（平成 22 年４月分から適用）。

⇒詳しくは７面「委員会の審査から」をご覧ください。

※ 議員報酬及び期末手当の総額は、改正前の条例との比較で一般議員一人当たり年額 40 万 800 円の減額となります。

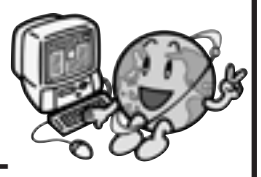
**○第4回臨時会**　会期…11月30日(月) 1日間
**○第4回定例会**
会期…12月4日(金)～24日(木) 21日間

| | 審議件数 | 可決･採択 | 否決･不採択 | 継続審査 |
|---|---|---|---|---|
| 議　案 | 32(2) | 32(2) | | |
| 条　例 | 16(2) | 16(2) | | |
| 予　算 | 1 | 1 | | |
| 決算(20年度) | 10 | 10 | | |
| その他 | 5 | 5 | | |
| 議員提出議案 | 6(1) | 6(1) | | |
| 請願・陳情 | 20 | 3 | 9 | 8 |

※「可決･採択」には同意、認定、趣旨採択を含んでいます。
※件数は臨時会と定例会の合計で、括弧内は臨時会の件数です。

**平成 22 年第１回定例会から**
**本会議の様子をインターネットで中継します**

⇒詳しくは10面「議会インターネット中継を始めます」をご覧ください。



**市議会だよりアンケートに**
**ご協力をお願いします**



⇒詳しくは10面「市議会だよりに関するアンケート」をご覧ください。

## 紙面の紹介（今号のもくじ）

○一般質問 ……2～6面
○決算･補正予算の審査から……6～7面
○委員会の審査から、臨時会の審議から‥7面
○議案等の議決結果、意見書、用語の解説、会議の開催状況、お知らせ ……8面
○委員会視察報告 ……9～10面
○市議会だよりアンケート、議会中継を始めます、編集後記 ……10面

「声の市議会だより」をお届けしています。
（録音テープ）
お知り合いの方でご希望の方がいらっしゃいましたら
中央図書館（☎042-465-0823）へお問い合わせください。

# 一般質問（1）

## 一般質問の要旨

第4回定例会では、28人の議員が一般質問を行いました。ここでは、その主な質問内容についてお知らせします。なお、質問内容については、各議員が執筆し、その責任のもとに掲載しています。
※会議録（第4回定例会分は2月下旬発行予定）は、市内の図書館・両庁舎の情報公開コーナー、議会事務局に備えてあります。また、ホームページでもご覧いただけます。

凡　例
西東京自由民主党　（自民）
西東京市議会公明党　（公明）
民主党・社民クラブ　（民主・社）
日本共産党西東京市議団　（共産）
生活者ネットワーク　（生ネ）
無所属　（無所属）

## 障害者への移動支援事業の拡充を
## 難病未指定の病気の周知拡大を

佐藤　公男（公明）

**質問** 障害者への移動支援事業の拡充を求める。

**答弁** よりサービスが利用しやすくなるよう平成22年度に見直しを行う。

**質問** けいれん性発声障害等、難病指定を受けていない病気に対する内外への周知拡大や患者への対応は。

**答弁** 国や都の動向を踏まえ、周知方法等を検討する。

**意見** 都と連携して、医師会等とも協力してほしい。

### ごみ袋料金を引き下げよ

**質問** 審議会答申でプラスチック袋料金の引き下げが出たが、無料にする考えは。

**答弁** 無料の考えはない。

**意見** 武蔵野や三鷹と同様、可燃不燃袋は半額に、プラスチック袋は無料にせよ。

### *救急医療情報キット導入を

**質問** 高齢者等の救急救命に役立つ、*救急医療情報キットの導入を求める。

**答弁** 有効な手段。消防署等と連携が必要だ。検討する。

### 新市10周年でギネスに挑戦

**質問** 平成23年からの市誕生10周年を記念して市民からアイデアを募集し、ギネス記録に挑戦してはどうか。

**答弁** 市民アンケート結果を踏まえ参考にする。

### 街路灯を省エネ照明に転換

**質問** CCFL等、LEDよりさらに低コスト長寿命の照明器具に転換する考えは。

**答弁** 省エネ器具導入は重要な命題。今後検討する。

## 文化・芸術は人の心を豊かにする
## 経済危機の中、文化施策に力を！

中田　惠美子（公明）

**質問** 政府が行った事業仕分けで、文化芸術予算が大幅に削減される見込みだ。科学技術や文化、教育等は費用と手間がかかる割に成果がすぐ見えない。継続すべきだ。市長はどのように受けとめているか。

また、当市の文化施策の来年度予算の考え方は。

**答弁** 大きな懸念は抱いていない。文化は市民がつくっていくものだ。また（仮称）文化芸術振興基本計画を策定する中で高齢者・障害のある方などに対する取り組みについても検討する。

**質問** 病児保育室の要望は多い。今後の取り組みについて伺う。また板橋区では看護師が急病児を迎えに行くサービスを始めた。当市でも検討しないか。

**答弁** 平成22年度からの子育て支援計画で実施に向け検討する。またお迎えサービスは、病児保育を整備してから検討する。

**質問** 義務教育就学児の医療費助成について、来年度以降も継続すべきだ。

**答弁** 今年度の状況を見て、財政などかんがみ検討する。

**質問** 市道113号線（早稲田通り）の安全対策について、今後の見通しを伺う。

**答弁** 現道の中で安全対策は可能だ。現在早稲田大学と調整している。調整ができ次第、事業を進めていく。

## 市長は、市民・地域の要望を
## 速やかに実行せよ！

小幡　勝己（公明）

**質問** 雇用悪化、消費低迷から市民生活を守る施策は。

**市長** 地域経済の活性化や市民生活の安定に努める。

**質問** 地方自治体の長として政府への基本姿勢を問う。

**市長** 市長会を通じて地方分権改革の推進を求める。

**質問** 一時保育の増設と申込方法の改善をせよ。

**市長** ひばりが丘団地内保育園と東伏見保育園を検討。申込方法も改善する。

**質問** 高齢者施策の地域密着型サービスを充実せよ。

**市長** 支援策の検討も視野に入れ積極的に取り組む。

**質問** 東大農場を通る3・4・9号線計画の周知は。

**市長** 来年度事業着手予定と聞く。情報提供に努める。

**質問** 都道112号線の整備状況と振動対策について。

**市長** 都が谷戸1丁目の歩道整備、共同溝設置を行う。

**質問** 中原小学校の南側道路の安全確保について。

**市長** 都市再生機構が対応。

**質問** 田無病院通りとコープ通り交差点の安全確保を。

**市長** 信号設置要望箇所として警視庁に上げる。

**質問** 市のHPに都市計画図や用途地域図を掲載せよ。

**市長** 実施に向け検討する。

**質問** 波型手すりの採用を。

**市長** 取り入れ、整備する。

**質問** 谷戸2丁目地区一帯の溢水対策に全力を。

**市長** 溢水対策を進める。

## 市長！皆さんに喜んで頂く
## 市制10周年に全力を尽くせ！

新井　五郎（公明）

**意見** 平成23年1月21日は、市誕生10周年です。多くの市民の皆さんに喜んでいただけるような特別な行事にすべきと考えます。皆さんが喜々として参加でき、運営もお任せできるくらいの楽しいイベントに目標を置くよう市長に求めます。



農産物キャラクターめぐみちゃん

**質問** ①市長は、市制10周年の基本コンセプトをどう考えるのか。②記念に「めぐみちゃんストラップ」をつくって配布してはどうか。③めぐみちゃん家族のプロジェクトはどうか。④「マンガ版西東京10年のあゆみ」の製作はどうか。⑤合併の日を西東京市民の日としてはどうか伺います。

**答弁** 西東京市誕生10周年記念事業は、本年7月に庁内準備委員会を立ち上げ、この11月に方針案を取りまとめました。合併から10年という大きな節目に当たることから「田無・保谷の歴史を振り返り、西東京市のまちづくり10年を踏まえ、未来に向かって飛躍する。」を基本コンセプトに、現下の厳しい社会経済情勢を踏まえ、可能な限り経費を抑制しつつ、市民の皆さんの主体的な参加、継続的な効果、地域振興、市民の健康づくり、環境への配慮、ふるさと西東京として長く愛される視点を重視して展開していきます。

## 国の迷走により市への影響甚大！
## 市長は予算獲得に全力をつくせ！

岩越　笙子（公明）

### 国の事業仕分けによる市への影響について

**質問** 国は基本戦略なきまま予算削減の目的で地方財政関連予算を仕分けした。このことで市民生活に影響が出る事業はあるのか。

**答弁** 地方交付税交付金は見直し、まちづくり交付金の実施は自治体判断となっており、歳入面で影響が出ると懸念される。地方主権であるなら税財源がきちんと確保できるよう努力する。

### 国の子育て応援特別手当廃止について

**質問** 鳩山政権は、国が要綱を制定しているにもかかわらず、唐突に前代未聞の廃止をした。本市では12月実施予定で9月議会で予算が可決されている。市単独で実施せよ。

**答弁** 市の財政状況から市単独実施は厳しい。

### かえで通り等歩道のある道路に椅子の設置を！

**質問** 歩道の植栽の中を活用して、腰をおろせるオブジェを設置してはどうか。

**答弁** 提案も参考にして検討していく。

### 小・中学校のトイレ掃除について

**質問** 公共心を養うためにもトイレ清掃を児童生徒で行ってはどうか。

**答弁** 教育的観点からも、引き続き学校長と協議をしていく。

## 新しい西東京市のビジョンとして
## 西武鉄道高架化の事業推進を図れ

佐々木　順一（公明）

### 都市計画マスタープラン

**質問** 合併10年の節目として、都市計画マスタープランの検証と再構築を図れ。

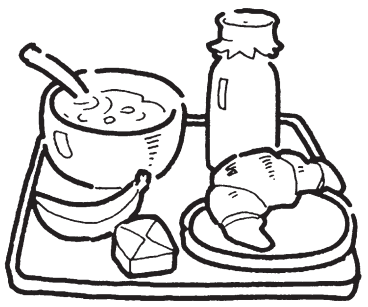
**市長** 社会情勢や市民ニーズの変化に適宜検討したい。

### 西武線高架化の推進を図れ

**質問** 中長期的なまちづくりの視点から都の踏切対策基本方針により、西武線の鉄道連続立体化について西東京市区域の事業化を図れ。

**市長** 事業効果として求められる道路やまちづくりの整理・検討を進めたい。

### ひばりヶ丘駅北口地区整備



### 事業に公共施設の導入を！

**質問** 整備事業の課題である建物共同化の誘導策として、コミュニティ施設の導入を検討し早期実現を図れ。

**市長** 貴重なご意見として賜りたいと思う。

### 青嵐中を自校方式の給食に

**質問** 理想的な学校給食の形態に対する見解を示せ。

**教育長** 自校方式が理想であるが、財政上の観点から実現は極めて難しい。

**質問** 給食の全体計画を示せ。

**教育長** 全体計画は課題を整理し、できる限り早期に明確にしたい。

### 図書館事業の充実と拡充を

**質問** 図書館司書の定年退職に伴う司書率の低下が懸念される。体制維持を図れ。

**教育長** 現状の司書率7割を維持し、職員の資質向上を図っていく。

# 一般質問（2）

## 積極的な雇用で公共性を確保し 質の高い市民サービスの提供を

倉根　康雄（共産）

**質問**　政府が3年5カ月ぶりにデフレ宣言を出した。景気回復の決め手は、庶民の所得を増やして消費の拡大を図ること。市は地域の最大のサービス事業所として、福祉・教育・環境・防災・医療などの分野で積極的な雇用に踏み出し、これまで以上に公共性の発揮・確保を図り、質の高い市民サービスを提供することが求められている。

　行財政改革に当たって、福祉の切り下げや負担増では、さらなる市民生活の圧迫、地域経済の疲弊化となる。市民の暮らし最優先の立場で、市民サービスの維持・向上を図ることが求められるが、市長の見解は。

**答弁**　市民生活を支える行政サービスの維持向上を図るため、社会経済情勢に対応した行財政改革を進める。

**質問**　来年度予算編成に向け、市民税の落ち込みなど厳しい財政状況であっても、市民の生活や雇用を守る自治体の責任と役割を果たすことについて、市長の見解を伺う。

**答弁**　引き続き、市税をはじめ税連動交付金など、多くを期待できない状況にあるが、市民福祉の向上を図り、高齢化・少子化対策、経済対策、雇用対策などの行政需要に的確にこたえていくことが必要である。


就職情報コーナー（田無庁舎２階）

## 保育所面積基準緩和は問題あり 認可保育所増設こそ重点課題！

藤岡　智明（共産）

**質問**　認可保育所居室面積最低基準は61年前に制定されたもので、諸外国と比較しても最低水準だ。厚生労働省は地方分権改革推進委員会勧告を受けて、待機児解消までの一時的措置として、東京等に限り、基準の緩和（条例による上書き）についてゆだねるとした。これでは現在の国最低基準より引き下げられ、詰め込み保育となり、保育環境は著しく悪化する。この面積基準緩和について、市長の見解を伺う。

**市長**　本市が該当するかわからない部分があるが、本市としては保育の量だけでなく、質についても目を向けながら慎重に対応したい。

**質問**　待機児問題は深刻だ。本市では現在、すみよし保育園建て替え、（仮称）ひばりが丘団地内保育園が建設中であり、90人程度の定員増となることを評価する。しかし２０１１年度以降認可保育所増設計画は示されていない。町田市では20年の期間限定の認可保育所制度として、来年は定員100人規模の認可保育園を３園新設すると聞く。こうした事例に学び、今後、認可保育所増設を重点課題として取り組むべきではないか。

**部長**　今後、先進市の取り組み事例を参考に研究、検討したい。


保育園で遊ぶ子どもたち

## 通級指導学級の増設・障がい児への介助員の配置日数増を求める

保谷　清子（共産）

**障害児教育の充実を**

**質問**　通級指導学級の増設が望まれている。保護者の送り迎えが困難な実情や軽度発達障がい児の実数を見据え、増設を検討せよ。

**答弁**　児童数や学校施設の状況を踏まえ、検討していきたい。

**質問**　小学校普通学級に就学する障がい児への介助員の配置日数増と、中学校への配置を求める。

**答弁**　日数増は、現場の状況を見ながら検討をする。中学校への配置は、さらに調査・検討をする。

**高齢者福祉の充実を**

**質問**　低所得の高齢者に配慮し、介護保険利用料の減額・免除制度を実施せよ。

**答弁**　今後検討していく。



## 事業仕分けを実施して、セーフティネット予算を確保せよ

森　てるお（無所属）

**質問**　国の政策で市が直面する困難は何か。対処は。

**答弁**　地域主権で自主財源を大幅に増やすというが、見通しは不明だ。市税収入は極めて厳しく、税連動交付金を含め一般財源に期待できない。限られた財源で市民福祉の向上を図る。

**質問**　年度末の基金残高見込みは14億円、20年度は30数億円取り崩した。必要な財源を確保できるのか。

**答弁**　今後21年度決算の剰余金、減収補てん債等で基金の積み増しをする。国は地方財源の充実をうたっており、交付税総額は確保されるものと期待している。

**質問**　地域主権で政策選択の自由度は高まるが、予算が縮小し、政策にめり張りが必要になる。基軸は何か。

**答弁**　後期基本計画やマニフェストを基本に、財政状況で優先順位を定めたい。

**質問**　事業の廃止、延伸も視野に入れるべきだ。中学校給食も必要な人がいる半面、他の多くの人に対しては過剰サービスだとの議論もある。事業仕分けで施策全体を見直すべきだ。

**答弁**　事務事業評価後、施策評価を試行中だ。事業仕分けは成果を見ていく。

**意見**　財政は相当厳しい。市民の参加で事業仕分けをし、事業の組みかえ、延伸、廃止をする必要がある。



## 憲法と労働基準法の理念に立ち返って官製ワーキングプアの解消を

安斉　慎一郎（共産）

**質問**　臨時職員と嘱託員の雇用期間とその更新はどのように定められているか。

　臨時職員は月収10万800円、期末手当を入れても年収約131万円で、嘱託員は月収約10万６千600円で期末手当がなく、年収約117万円とのことである。生活保護以下の年収であり官製ワーキングプアと言わざるを得ない。

**市長**　臨時職員の任用については、「６月を超えない期間」と定めている。嘱託職員の任用については、「１年以内とし、４回に限り更新できる」と定めている。

**意見**　解雇を条件に雇用する民間大企業の期間工と通じる。この点でも官製ワーキングプアであると思う。

　正規職員と臨時職員・嘱託員との休暇における格差も歴然としている。待遇が違えば当然、勤労意欲や使命感に影響する。

　行財政改革推進委員会答申は、第３次行財政改革大綱の策定に向けて「行財政運営に必要な人材が確保できるよう」と述べている。

　労働基準法は「労働条件は、労働者が人たるに値する生活を営むための必要を充たすべきものでなければならない」と定めている。今こそ、憲法と労働基準法の理念に立ち返って考えて見るべきではないか。

## *市民の接遇と子ども権利条例 小一プロブレム

小峰　和美（無所属）

**質問**　市役所職員にマナー教育をしてはどうか。外国では困っている人に「何かお助けしましょうか」、「何かお困りですか」と積極的に声をかける。本市の対応は大丈夫か。窓口をはじめ、常に来庁者にアンテナを光らせ市民サービスに努めよ。

**答弁**　職員全体の問題としてとらえ、受け身ではなく積極的な窓口対応が大切だと考える。接遇の向上、市民サービスの向上を目指し研修を進めていく。

**質問**　東京都教育委員会から公立小学校の４校に１校で「*小一プロブレム」が発生しており、特に40～50代の教員のクラスが多いという実態が公表された。学習支援員を１クラスに１人つけてはどうか。

**答弁**　教員の指導力向上に関する研修を充実させたり、小学校と幼稚園、保育園で情報交換や連携を図る。学習支援員の配置は研究する。

**質問**　子どもの権利条例で「権利」を全面的に打ち出すことには問題がある。「権利」より「義務」が主で、人が人として、立場、身分の上で、当然しなければならないことが大事だ。我々大人が子どもに対し「義務」を履行するような手だてが最善だと考える（「権利」と「義務」に対する答弁がされなかった。）。

# 一般質問（3）


青嵐中学校の屋根の太陽光発電設備

## 福祉資源の連携で高齢者支援を 子どもの成長を支援する仕組みを
板垣　洋子（生ネ）

**質問**　生活保護世帯は1千876世帯で、ケースワーカー1人で120世帯を対応している。貧困世帯対策と被保護世帯の子ども支援をせよ。

**答弁**　貧困の連鎖については、高校進学自立支援、不登校自立支援プログラム等で次世代支援にも力を注いでいる。

**質問**　いじめや不登校等問題を抱える子どもに対して、子どもを取り巻く環境改善への対策はとれているか。

**答弁**　子どもの健やかな成長に必要なことを第一に考え、関係機関がそれぞれの役割を生かし、きめ細やかな対応を図っていく。

**質問**　保育所への待機の実態把握と緊急対策を図れ。

**答弁**　待機児保護者の40％が求職中。ひとり親世帯も増加傾向。緊急対策として分園も調査研究していく。

**質問**　一時保育を拡充せよ。

**答弁**　ひばりが丘団地の新設保育園で実施予定、ひがしふしみ保育園で検討している。0歳児受け入れは解決すべき課題がある。

**◇社会問題である貧困、いじめ、待機児等について**
**◇高齢者の暮らしを支える医療との連携、及び地域福祉資源と地域福祉コーディネーターの配置について**
**◇災害時要援護者避難支援プランへの周知と協力体制づくりについて**

## 多様な主体との協働のまちづくり 今こそ市民活動支援条例の策定を
大友　かく子（生ネ）

**質問**　4月から協働コミュニティ課が設置されるに当たり、市が目指す協働の理念を明確にした市民活動支援条例の策定と、現在は要綱で運用されている協働推進センター「ゆめこらぼ」についても条例化を検討すべき。また、地域活動情報ステーションの登録を「ゆめこらぼ」で受け付けできないか。

**答弁**　市民活動支援条例は今後研究。「ゆめこらぼ」は当面は要綱で運営。地域活動情報ステーションは可能かどうか今後調査研究する。

**質問**　地球温暖化対策地域推進計画に新エネルギービジョンはどのように盛り込まれるのか。

**答弁**　新エネルギービジョンの考え方に環境学習などの要素を付加したものとして計画を位置づけている。新エネルギービジョンの要素を包含する形で盛り込みたい。

**意見**　目標設定からチェック体制まで市民にわかりやすい形で盛り込んで策定を。

**◇ディッシュ・リユースシステムの導入でごみの減量を進めることについて**
**◇事業仕分けの実施や補助金の見直しなど予算編成過程への市民参加について**
**◇子どもの居場所について（小学校の校庭・体育館開放事業）**

## 積極的な環境政策の取り組みを！ 住吉町都住跡地の暫定利用を！
山崎　英昭（民主・社）

**質問**　効率的な仕事を行うためには、システム構築と職員の意識改革、研修が不可欠だ。いかにBPRの推進を図っていくのか。

**答弁**　今回のシステム再構築では業務の見直しにも取り組んでいる。今後も研修等も含め、さらに職員の意識改革を図っていきたい。

**質問**　再生可能エネルギー導入に積極的な取り組みを。

**答弁**　公共施設への太陽光発電設備導入のほか、市民向けには太陽光パネル等導入費用の一部助成制度を本年度創設した。

**質問**　庁用車への電気自動車導入と、庁舎への急速充電器の設置を。

**答弁**　今後の検討課題として認識している。

**質問**　校庭芝生化へ、前倒しで積極的な取り組みを。

**答弁**　全額を東京都が出す制度はめったにない。ぜひ教育委員会にも積極的に取り組んでもらいたい。

**質問**　住吉町都営住宅跡地を緑地として活用できるように、市への無償貸与や、少なくとも当面の間は市民の憩いの場として暫定利用ができるように、東京都に対して積極的な働きかけを。

**答弁**　開放を求める要望は都に伝えてきた。今後とも都の動向を確認しながら、ご指摘の点等について都に説明していきたい。


はなバス

## 安心できる市民サービスの継続を 目指して！
望月　伸光（民主・社）

**質問**　災害時の事業継続（市民サービスの継続）を確保する考えは重要と考える。政府や東京都では、事業継続計画（BCP）の策定が行われているが、当市の事業継続計画（BCP）に関する考え方について伺う。

**答弁**　災害時にも市民生活に支障が出ないように業務を継続することは、重要と認識している。東京都事業継続計画（地震編）を参考に、今年度中に東京都が策定予定のBCP策定ガイドラインを活用し、当市のBCPを検討・策定していきたいと考える。

**質問**　消防団のポンプ車にAEDが搭載されることになっているが、技能講習は行われているものの、全員受講しているわけではないのが現状だ。AEDを使用する消防団員の教育・訓練をどのように行うか伺う。

**答弁**　今後、西東京消防署と連携して消防団員を対象とした救命講習会を実施し、AEDを適正に使用できる体制を整備する予定である。

**意見**　消防団員の訓練練度を維持するために、訓練用機材等を準備してはどうか。

**◇耐震改修補助事業**
**◇街路樹木の整備**
**◇IHIの跡地について**
**◇新型インフルエンザ**
**◇高齢者福祉施策の充実**


協働推進センターゆめこらぼ（南町５丁目）

## 西東京市移動支援事業 制度上の課題と改正を問う
二木　孝之（民主・社）

**質問**　障害者が地域で安心して暮らせる社会の実現を目指す中で、地方自治体間のサービス格差は大きい。移動支援事業において、当市は十分なサービスが提供できる仕組みになっているのか、課題を問う。

　当市のサービス支給量は、18歳以上の視覚障害者等の場合、1カ月ごとに32時間まで（上乗せ8時間の制度あり）となっているが、年間支給に改めるなど、管理する側の都合ではなく利用者の使い方に合わせた制度に改善しないか。

**市長**　地域生活支援事業全体の見直しを行い、サービスの向上に努めていきたい。

**福祉部長**　更新時期、所得調査等を踏まえ、7月には利用時間の繰り越しや複数月での利用ができるように利便性の向上を図りたい。

**質問**　「はなバス」ルート等見直しに関する中間報告が示されたが、定時性の確保や東伏見駅を起点としている第2ルートにおいて、保谷庁舎よりも保谷駅に先に立ち寄るルート変更はなぜ議論しなかったのか。長年にわたる議会での議論や提言が埋もれていないか。

**都市整備部長**　市内全域の集計では、現在ルートでよいとの意見が7割以上で、ルート見直しについては、中長期的な検討課題とした。

## 中学校給食の一斉実施を要望！ 新型インフルエンザへの対応は？
桐山　ひとみ（民主・社）

**質問**　中学校の工事測量を前倒しで行い、東京都建築安全条例や建築基準法関係の問題が出ていると聞く。今後の事業計画に影響が出る場合は、2期以降の組み合わせについても再度検討されるのではないか。測量結果を受けての懸念材料は。

**答弁**　第1期の今年度は、小学校の調理機器の増設や給食室内の改修工事等に向けての意見調整を実施。中学校はエレベーターの設置場所を決め実施設計を進めているが、既存不適格建築物の抽出など改修が必要となる箇所等の考え方が一定程度確認できた。小学校の増築はないが、経年による既存設備の改修も含めて工事を要する。2期以降も測量結果を受け、建築基準法や東京都建築安全条例にかかわる課題等を抽出中。実施設計における課題を整理し、早期に明確にしたい。

**意見**　できるところから実施設計を行い、最終的には不公平感をなくすため、一斉実施をしてほしい。

**質問**　新型インフルエンザにより学級閉鎖・学校閉鎖した分の授業数の確保は。

**答弁**　5・6校時の実施や学校行事の取り組みを工夫し、それでも確保が難しい場合は、土・日曜、祝日に授業を実施して可能な限り年間授業数の確保に努める。

# 一般質問（4）

## 優しさとは相手を知り、理解すること・・・

森　信一（民主・社）

**質問**　私は「優しさとは相手を知ること」だと思います。一人でも多くの市民が障害の種類や程度についての知識を高めることで、障害者が地域で生きがいを持って快適に暮らせる環境がつくれると思いますが、障害についてもっと市民が学べる講座等を実施できないかをお伺いします。

**市長**　障害について知っていただくための出前講座などについて、どういった内容、方法により行うのが有効か研究し、来年度以降に実施していきたいと考えています。

**質問**　東伏見小学校にある児童館分室が来年度中に廃止となります。方法や形態にこだわらず、今までと同じ時間帯に子どもたちが安心して過ごすことのできる居場所の確保はできないか、お伺いします。

**教育長**　放課後子ども教室の検討とあわせ、当面の対応として、現在実施している子どもの居場所に関連した事業の拡大を検討するとともに、あわせて関連部署での事業の拡大が図れないか協議しているところです。

**要望**　西東京市誕生10周年の記念事業として、青少年の日のイベントや小学校子ども議会などを行い、それ以降は毎年の実施を要望します。

## ごみ資源化、生活保護行政 学校裏サイトなど問う

相馬　和弘（民主・社）

**質問**　第3次行財政改革の取り組みが、審議会から示された。市長は、この答申を市政運営に対し具体的にどう反映させていくのか。

**市長**　行革大綱を平成21年度末までに策定し、さらに改革推進に向けて取り組む。

**質問**　市長は、ごみ3事業の見直し・検証を掲げて2期目の当選を果たした。有料化によりごみ減量は大きな成果を挙げたわけだが、審議会の答申ではプラスチック袋の低額設定が示されている。市の方針を問う。


集積されたプラスチック容器包装類

**市長**　3事業を始めて2年が経過し、市民の皆様に分別についてかなり理解されてきた。手数料改定の有無に関わらず、分別の徹底に取り組んでいく。

**質問**　今の経済情勢を受けて生活保護受給者が急増している。ケースワーカーの受け持ち世帯数も増え続けている。自立支援のためのきめ細かい対応には、部署の充実が必要ではないか。

**市長**　適正な人員体制の維持に努めたい。

**質問**　都の教育委員会が学校裏サイトの実態調査を公表した。西東京市小中学校の実態と対応はどうか。

**教育長**　4カ月間に小・中学校合わせて88件の書き込みが報告された。各学校に情報提供し、個別、全体指導を行っている。

## 教育現場における新型インフルエンザ対策と一斉メール配信の活用

田中　のりあき（自民）

**質問**　本格的な新型インフルエンザ流行期に入れば、授業の遅れが深刻になることも考えられるが、対応は。

**答弁**　臨時休業が複数回となる罹患率の高い学級もある。学習保障、授業時間数確保の必要から、学校長と意見交換を行い、ガイドラインの運用を見直した。


ひばりヶ丘駅北口の階段

**質問**　不審者情報の提供や緊急連絡網に代わるものとして、学校単位でメールの一斉配信の導入の検討は。

**答弁**　PTAや学校関係者から、携帯電話による一斉配信メールの要望もある。個人情報の保護や情報の流出防止等に配慮した一斉メール連絡システムの導入に向けて、検討している。

**質問**　ひばりヶ丘駅北口のまちづくりにおける駅利用者の最大の関心事でもある、駅のバリアフリー化に向けての取り組みは。

**答弁**　現在用地買収が完了している3件のうち1件が駅前広場用地内である。西武鉄道との協議の上、できるだけ早期に駅北口のバリアフリー化を実現したい。

**質問**　中間報告された子どもの権利に関する条例要綱には発達状況に応じた基本的な責務についての記述がない。どのように考えるか。

**答弁**　責任と役割を学ぶことと、子どもの権利の尊重は分けて考えるべきである。

## 政治家は襟を正し本音で有言実行 市長は市民サービス向上を目指せ

大塚　光男（自民）

**市長はごみ袋値下げ断行を**

**質問**　廃棄物減量等推進審議会の答申を受けての具体的な取り組みについて。

**答弁**　可・不燃物の処理手数料は据え置きに、その他プラは使用料・手数料等審議会に諮問し、検討する。

**質問**　減量効果は市民の理解と協力による。自民党は、可・不燃物は現行の半額に、その他プラ類は現行の1／4にすることを要求する。市長の政治判断を求む。

**答弁**　市民の皆様に感謝申し上げるが、答弁のとおり。

**要望**　答申は答申として、市長は市民に還元、減額を。

**はなバス運行計画見直しを**

**質問**　見直しに関する中間報告に基づく取り組みは。

**答弁**　第5ルートを午後9時まで延長することを想定。

**消防団員OBの支援を**

**質問**　大震災に備え、知識や経験のあるOBの力をかりて地域防災力の充実を。

**答弁**　ご指摘のように考え、消防団員OBの活用について消防委員会に諮問した。

**石神井川の環境と管理を**

**質問**　富士見橋や向台橋付近の不*明水について問う。

**答弁**　不*明水の原因の特定に向け、調査を実施する。

**中学部活の活性化と支援を**

**質問**　相談が増えている。実態と取り組みを問う。

**答弁**　外部指導員の導入などにより対応している。


その他プラスチック類の戸別収集

## エコプラザの利用を、拡大せよ！保谷庁舎整備で市民の憩える場を

鈴木　久幸（自民）

**質問**　3月定例会総括質疑の中の2点について進捗状況を問う。1点目「道路の寄附時における手続の改正、セットバック時や私道の上*地における市民費用や手続の簡素化」について。

**答弁**　他市の事例は調査したが、工費の補助負担等は困難であると考えている。

**質問**　2点目「病児保育の取り組みと充実」を問う。

**答弁**　平成22年度から子育て支援計画で実施に向けて検討していく。

**質問**　エコプラザの市民利用の拡大を図れ。

**答弁**　利用者懇談会での指摘もあり、市民が利用しやすいように検討する。

**質問**　利子割・配当割・株式等譲渡所得割の各交付金は直接的な税収入ではないが、経済活動のバロメーターだ。大幅な落ち込みから不景気の状況が読み取れる。市の税収の見通しは。

**答弁**　法人市民税は推計中だが、厳しい状況である。

**意見**　これらの交付金の大幅な下方修正は、経済活動の構造が大きく変わったことを示す。税収入の増は期待できない。市の事業を抜本的に見直す必要がある。

**質問**　保谷庁舎の整備状況と今後の位置づけを問う。市民の憩える場所をつくれ。

**答弁**　計画どおり平成22年度に完成する。

## 東大農場と駅前通りの一体整備を 中学校武道科目の充実を

海老沢　進（自民）

**東大農場と田無駅北口大通りの整備について**

**質問**　農場整備計画に合わせ、駅北口大通りから農場内の桜並木を一体整備し、3・4・9号線に接続すれば、利便性も、駅からの景観も飛躍的に向上するが。

**答弁**　農場と周辺地域を含む地区計画を策定し、緑と周辺環境が調和したまちづくりを進めたい。

**私立幼稚園の支援拡充策について**

**質問**　市内には14の私立幼稚園があり、幼児の健全育成を担っている。保育園の待機児減少効果も期待し、支援策を拡充する考えは。

**答弁**　入園費助成及び預かり保育運営費の不足分の市助成について検討していく。

**「子どもの権利条例」について**

**質問**　条例要綱では、「子どもの権利条約の趣旨に基づいて」とあるが、内容は全く相反している。

**答弁**　条約は途上国や貧困に苦しむ子どもを国際協力で支援するものではない。

**中学校への武道科目導入について**

**質問**　24年度から中学校1、2年生で武道が必修科目となるが、市の準備状況は。

**答弁**　柔道、剣道、相撲から1種目を選択履修するが、市内9校の全校で柔道の履修を予定している。

# 一般質問（5）、決算・補正予算の審査から（1）

## 22年度よりいよいよ動き出すか!? 東伏見駅周辺への公共施設設置へ

稲垣　裕二（自民）

**東伏見駅周辺について**

**質問** 空き店舗を活用した公共施設設置を再三提案したが、その後の検討状況は。

**市長** 庁内検討組織を立ち上げ、先進事例の視察を行った。平成22年度には実態把握や地元商店会と協議を行い、できるだけ早く具体的な方策をまとめたい。

**質問** 住民票等自動交付機等も同時設置する考えか。

**市長** 自動交付機の設置も含めて考え方をまとめる。

**質問** 3・4・17号線（東伏見駅～青梅街道間）は将来的にしっかりと完成させるのか。市の考えを問う。

**市長** 優先整備路線の検討状況等を踏まえ検討したい。

**中学校給食について**

**質問** 現時点では親子方式での実施が現実的だが、今後、超長期的には自校方式の検討をすべきでは。

**教育長** 現時点では答申を尊重し粛々と実行していく。

**質問** 親校となる小学校の給食の内容・中身の実質低下の危険性、地場野菜導入率低下等の問題への対応は。

**答弁** 現在の質を落とさないよう検討している。

**商業振興について**

**質問** 現状とは別に、新たな視点に立った補助事業の創設を考えるべきでは。

**市長** 提案内容を含め、活性化に寄与する総合的支援の仕組みについて検討する。

## 田無駅南口広場の実現に向け 市長は動きはじめよ

遠藤　源太郎（自民）

**質問** 国の行政刷新会議事業仕分けが当市の22年度予算編成に及ぼす影響は。

**答弁** 影響が懸念される。

**質問** 合併10年目の22年度以降、国の支援が減少するが、後期基本計画の実現は。

**答弁** 行財政改革の取り組みの強化などで対応する。

**質問** 中学生までの医療費無料化を22年度も継続せよ。

**答弁** 国の動向による。

**質問** ＩＨＩ跡地開発は順調ではない。情報を早く知らせよ。道路整備や公園整備に住民の声を反映させよ。

**答弁** 最大限努力していく。

**意見** 田無駅南口は市で一番広い市域を担い、人口増も予測される。はなバスもＩＨＩ開発地に入る。南口広場実現に早急に着手を。タコ公園かＩＨＩ跡地に交番の設置を求めよ。

**答弁** 警視庁に要望する。

**質問** アニメ産業と連携した街づくり。具体的には。

**答弁** 広く意見を求める。

**質問** 農業振興のため学校給食に地元野菜の積極的利用を。また、地産地消の動きを行政として示すべきだ。

**答弁** 農家との協力で実施。

**質問** 消防団員の確保は。

**答弁** 消防委員会で検討中。

**質問** 新型インフルエンザの学級閉鎖基準が厳格過ぎるという声がある。今後は。

**答弁** 季節性の流行期などを控え、運用を見直した。

## 石神井川・市内公園行政・市内溢水地域について

小林　たつや（自民）


向台植物公園（向台３丁目）

**質問** 石神井川の水質及び行政のかかわり方について。

**答弁** 市内には47カ所のはけ口があり、一部基準値を超えた箇所もあるが、川の水質は環境基準をクリアしている。行政としては、市民・ＮＰＯを巻き込みながら参加型環境学習事業等を通し、水に親しめる整備等にかかわっていきたい。

**意見** 都の工事を待つばかりでなく、積極的な対応を。

**質問** 向台植物公園の現状、ドッグラン設置の対応（仮称）東伏見公園の現状について。

**答弁** 植物公園は「自然を見つめる会」の皆様との協働により整備を進めている。ドッグランについては、引き続き検討していく。東伏見公園整備では、市民意見の反映を都に求めていく。

**質問** 市内溢水地域に関する対策の現状と今後は。

**答弁** 市内50カ所の溢水を確認している。今年度は谷戸町３丁目、ひばりが丘４丁目、向台町２丁目の整備を実施。今後も豪雨情報などを的確にとらえ、市民の生命と財産を守るため計画的に整備を推進する。

**意見** ひばりが丘４丁目、保谷町５丁目の溢水地域の方々は、豪雨時夜も眠れない不安な時を過ごすことがある。計画の前倒しも含め、早急な対応を強く要望する。


西東京市事務事業評価報告書（平成21年12月発行）

## 予算編成過程の可視化と協働で厳しい財政状況を乗り切れ!!

納田　さおり（無所属）

**質問** 深刻な不況の影響により22年度の歳入は大きな打撃を受ける。限られた財源の中での予算編成には、事業仕分けのような優先事業の可視化も必要だが、縮小・廃止が検討される事業を市民がどうしたいのかと問いかける機会を設け、自助の拡大による市民協働によって、事業の再構築を図ることも重要ではないか。

**答弁** 事務事業評価の中で、市民意見の反映を行っているが、さらに施策評価の効果的な運用によって予算編成手法の充実を図っていく。在宅介護は、医療との効果的な連携なしには充足されない。脳卒中ネットワークや地域リハビリテーションなど、医療と福祉のたゆまぬ連携を支える事業の進捗状況は。

**答弁** 圏域の協議会や検討会で取り組みを進めている。

**質問** 中学校通級は開設準備段階から保護者が参加することで、より充実した運営をもたらすことができるが。

**答弁** 懇談会を行い、保護者の意見を聴取している。

**意見** 発達障害の生徒への適切な対応から、中学校通級と不登校対応のスキップ教室との連携が重要である。

**意見** 樹木管理が主体の現条例から市民協働を主軸とする「花とみどりのまちづくり条例」の制定を求める。

# 委員会の審査から

議案や皆さんから提出された請願・陳情は、原則として所管の常任・特別委員会等で審査を行います。ここでは、第４回定例会で議決された主な議案等の審査の概要をお知らせします。

## ○企画総務委員会

**「西東京市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」**
**「西東京市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例」**
**「教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例」**

**【説明】** 特別職報酬等審議会の答申を踏まえ、平成22年４月から、議長の報酬月額を65万円から64万２千円に、副議長を58万円から57万４千円に、各委員会委員長を57万円から55万７千円に、議員を55万円から54万円に、市長の給料月額を105万円から101万３千円に、副市長を90万円から89万８千円に、常勤の監査委員を70万円から69万６千円に、教育長の給料月額を81万円から79万７千円に、それぞれ引き下げるもの。

**【主な質疑等】**

**問** 期末手当の20％加算が一部の市民の間で問題視され、これまで陳情も提出されてきた。いわゆる役職加算について、平成２年度から導入された期末・勤勉手当の職務段階等に応じた加算は、民間企業では役職段階により相当の差異が認められる賞与の配分傾向を公務員に反映させたものだと認識しているが、これでよろしいか。

**答** そのとおりだ。

**問** 審議会の会議録を読ませていただいた。市長も目を通したと思うが、どういう感想をお持ちか。



**答** まず、率直に委員の皆様のご尽力に感謝したい。

今回の審議は４月30日から11月17日の答申の日まで全８回開催されている。この開催回数は本市では初めてであり、他市でも例を見ない回数だと思っている。

また、慎重かつ熱心な審議をし、広く深くご議論いただき、その成果としてしっかりした内容の答申をいただけたと考えている。

**【結果】** 賛成全員で可決

※なお本会議では賛成多数で可決された。

## ○文教厚生委員会

**「認証保育所等認可外保育所保護者助成の増額に関する陳情」**

**【趣旨】** 認証保育所等認可外保育所に児童を入所させている保護者への助成の増額を求める。

**【主な質疑等】**

**問** 増額した場合の影響は。

**答** 現行の助成金は月５千700円で、助成の対象となる認可外保育所等の利用者は11月１日時点で約340人いる。仮に助成金を１万円とした場合は年間１千700万円の増額となる。また、多摩地域で助成を実施している13市の中で最高助成額の２万円とした場合は年間５千800万円の増額となる。

**問** 今後どういう方向で考えているのか。

**答** 増額したいが、財政状況が厳しく調整中である。

**問** 定額助成を実施している市の平均助成額は。

**答** 市によって制度がまちまちなため算出していない。１万円前後と思われる。

**【結果】** 賛成全員で採択

## ○建設環境委員会

**「西武池袋線の連続立体化に調布保谷線横断部分も含めるよう求める陳情」**

**【趣旨】** 西武池袋線の連続立体化検討区間に調布保谷線付近を含めた地区構想を市で立てるとともに、東京都に要請することを求める。

**【主な質疑等】**

**問** この付近が連続立体化の検討対象区間でない理由は。

**答** 調布保谷線については鉄道をアンダーパスする計画が既にあることから、都の踏切対策基本方針では、この部分が連続立体化の検討区間の切れ目となっている。

**問** 市で地区構想を立てて東京都に要請するとなると、財源的に担保された計画が必要か。陳情者のいう地区構想をどのように考えているか。

**答** 連続立体化事業は現行制度上、当該市は13・５％の財政負担が必要である。連続立体化は基本的に広域で対応していくものと考えており、現在、多摩北部都市広域行政圏協議会で中長期的に取り組んでいる。陳情にある地区構想の具体的な内容は想定できていない。

**【結果】** 賛成全員で採択


西武池袋線の踏切

# 臨時会の審議から

市議会議員、市長、副市長、常勤の監査委員及び教育長の期末手当支給割合を改めることなどについて審議を行うため、11月30日に第４回臨時会を開催しました。ここでは、第４回臨時会で議決された議案の審議の概要をお知らせします。

**「市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」**
※議員から提出されたものであり、説明は提出した議員が行った。

**【説明】** 人事院勧告及び東京都人事委員会勧告並びに西東京市特別職報酬等審議会答申を尊重し、議員報酬の期末手当の支給割合を、６月に支給する期末手当は215／100を195／100に、12月に支給する期末手当は235／100を220／100に改め、年間支給月数を４・15月分引き下げて４・15月とするもの。

議会議員の期末手当については、本来は特別職報酬等審議会の答申に基づいて市長提案により行われるべきだが、本年５月に出された異例の人事院の臨時勧告を受け、暫定的な措置として６月の期末手当の改正を議員提案により行った経過を踏まえ、今回も議員提案により改正する。

**【結果】** 賛成全員で可決

**「市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例」**
**「教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例」**

**【説明】** 民間事業所における賞与の支給月数、及び人事院勧告による国家公務員の期末手当の支給割合の減を考慮し、一般職の職員に対する期末・勤勉手当の年間支給月数を4.5月から４・35月分引き下げて４・15月とする東京都人事委員会勧告の趣旨を踏まえ、特別職報酬等審議会に諮問し、答申を得た。

本年度６月期の市長、副市長、常勤の監査委員及び教育長の期末手当に限り、暫定的な特例措置として、２・15月分を支給するところ、0.2月分減じて１・95月分を支給したが、期末手当の年間支給割合が確定したため、６月に支給する期末手当は215／100を195／100に、12月に支給する期末手当は235／100を220／100に改める。

**【結果】** 賛成全員で可決

**◆一般会計**

**【主な質疑項目】**

・学童クラブ育成料・保育所運営費の滞納の原因把握、確信犯的滞納者への対応策について

・イングビル空き店舗の状況、収入未済額、建物の耐用年数について

・高齢者配食サービスの実績増と高齢者の安否確認の意義について

・スポーツ施設、こもれびホールの指定管理者制度に対する市民意見の集約、料金設定について

・権利擁護事業の支援体制の強化、地域包括支援センターとの連携について

・ごみ３事業の数値的な評価、審議会への諮問と市長の政治決断について

・地域防災行政無線設備のデジタル化の効果について

・災害時における避難所の被災者のプライバシーの確保、ミルクの備蓄状況、医薬品処分について

・農業振興計画と東大農場との連携について

・街路灯のＬＥＤへの切りかえ、費用対効果、今後の取り組みについて

・学校給食における地場野菜仕入れ体制と教育委員会の携わり方について

・小中学校の光熱水費の増加傾向の総括、各学校の取り組みについて

・就学援助事業の受領委任払い制度の周知、所得制限について

・成人式事業の総括、市長部局への移行について

・図書館のＩＣタグ導入の効果、返却督促について

**【結果】** 賛成全員で認定

**◆国民健康保険特別会計**
**◆下水道事業特別会計**
**◆受託水道事業特別会計**
**◆中小企業従業員退職金等共済事業特別会計**
**◆老人保健（医療）特別会計**
**◆駐車場事業特別会計**
**◆介護保険特別会計**
**◆保谷駅南口第一種市街地再開発事業特別会計**

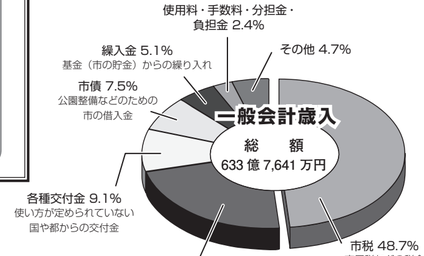
**【結果】** 賛成全員で認定

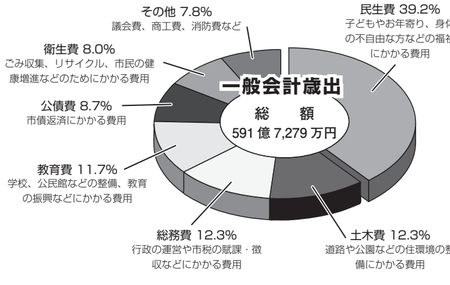
**◆後期高齢者医療特別会計**

**【結果】** 賛成多数で認定

# 平成20年度決算

平成20年度決算については、去る９月29日から10月５日までの５日間にわたり決算特別委員会を開催して審査を行いました。また、平成21年度補正予算については、12月16日に予算特別委員会を開催して審査を行いました。ここでは、その主な内容についてお知らせします。




＜平成20年度各会計決算の概要＞

| 会計名 | | 収入済額 | 支出済額 | 収入支出差引額 |
|---|---|---|---|---|
| 一般会計 | | 633億7,641万円 | 591億7,279万円 | 42億362万円 |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 178億7,064万円 | 174億1,212万円 | 4億5,851万円 |
| | 下水道事業 | 84億5,002万円 | 84億4,841万円 | 162万円 |
| | 受託水道事業 | 5億2,609万円 | 5億2,609万円 | |
| | 中小企業従業員退職金等共済事業 | 1億6,633万円 | 1億54万円 | 6,579万円 |
| | 老人保健（医療） | 13億2,083万円 | 12億8,817万円 | 3,266万円 |
| | 駐車場事業 | 1億8,240万円 | 1億7,289万円 | 952万円 |
| | 介護保険 | 95億6,780万円 | 94億1,442万円 | 1億5,338万円 |
| | 保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業 | 27億2,410万円 | 23億6,679万円 | 3億5,730万円 |
| | 後期高齢者医療 | 27億7,512万円 | 27億108万円 | 7,404万円 |
| 合計 | | 1,069億5,974万円 | 1,016億330万円 | 53億5,644万円 |

# 平成21年度補正予算

**◆一般会計**

**【説明】** 歳入歳出予算の総額に４億4千519万６千円を追加するとともに、子育て応援特別手当支給事業費で設定した繰越明許費を廃止するもの。

歳入の主なものは、生活保護費等負担金の増及び子育て応援特別手当交付金の皆減に伴う国庫支出金の増額１億3千27万円、新型インフルエンザワクチン接種費用の補助制度創設に伴う衛生費の増額６千333万４千円、消防団の消防ポンプ車への増額306万４千円、東京都区市町村振興基金の繰上げ償還に伴う公債費の増額９千286万３千円。

**【主な質疑項目】**

・幼児２人同乗用自転車購入費助成の申請状況と今後の見込みについて

・生活つなぎ資金の申請傾向、所得制限、連帯保証人、貸付の返済率、ハローワークとの連携について

・新型インフルエンザワクチン接種の公費負担に対する特別地方交付税措置、対象者への周知方法について

・消防ポンプ車のＡＥＤ設置導入に至る根拠と効果、市全体の管理について

・子育て応援特別手当支給事業費の廃止の市長の見解について

**【結果】** 賛成全員で可決

# 議決結果（議案、請願・陳情）、意見書、会議の開催状況

## 第４回臨時会・第４回定例会 議案の議決結果一覧

○賛成 ×反対 －退席

| 件名＼会派（ ）は所属議員数 | 西東京自由民主党（8） | 西東京市議会公明党（6） | 民主党・社民クラブ（6） | 日本共産党西東京市議団（4） | 生活者ネットワーク（2） | 無所属・市民の目（1） | 無所属・市民派無所属（1） | 無所属・市民会議（1） | 結果 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| **第４回臨時会** | | | | | | | | | |
| 条例改正 ・市長等の給与等に関する条例<br>・教育委員会教育長の給与等に関する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 議員提出議案 ・市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| **第４回定例会** | | | | | | | | | |
| 決算 ・一般会計<br>・国民健康保険特別会計<br>・下水道事業特別会計<br>・受託水道事業特別会計<br>・中小企業従業員退職金等共済事業特別会計<br>・老人保健（医療）特別会計<br>・駐車場事業特別会計<br>・介護保険特別会計<br>・保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 認定 |
| ・後期高齢者医療特別会計 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | |
| 補正予算 ・一般会計予算（第３号） | ○ | － | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 条例改正 ・市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例<br>・市長等の給与等に関する条例<br>・教育委員会教育長の給与等に関する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | 可決 |
| 条例改正 ・一般職の職員の給与に関する条例<br>・職員退職手当支給条例の一部を改正する条例<br>・議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例<br>・健康づくり推進協議会条例<br>・保育の実施に関する条例<br>・児童保育費用徴収条例<br>・予防接種健康被害調査委員会条例<br>・男女平等参画推進委員会条例<br>・田無市中小企業従業員退職金等共済条例<br>・スポーツ振興審議会条例<br>・スポーツ施設条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 議員提出議案 ・経済・金融不安から国民生活・雇用を守ることを求める意見書<br>・核兵器廃絶へ、日本政府が積極的役割を果たすことを求める意見書 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| ・国として直接地方の声を聞く仕組みを保障することを求める意見書 | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| ・全校方式による全国学力・学習状況調査の継続を求める意見書※ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | ○ | 可決 |
| ・生活保護の老齢加算・母子加算の復活を求める意見書 | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| その他 ・市道路線の認定について（４件） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| ・損害賠償の額の決定について | | | | | | | | | |

※　可否同数、議長裁決により可決

## 請願・陳情の結果

（ ）は付託委員会

**採択されたもの**

○認証保育所等認可外保育所保護者助成の増額に関する陳情（文教厚生）

○公園の使い方に関する陳情〈趣旨採択〉（建設環境）

○西武池袋線の連続立体化に調布保谷線横断部分も含めるよう求める陳情（建設環境）

**不採択となったもの**

○特別職報酬等審議会の公正をキープするため市民公募半数以上で審議会のやり直しを求める陳情（企画総務）

○議員報酬等の見直しは、２００７年引き上げ前の額に戻し、期末手当20％加算をカットすることを求め、議員立法で報酬を是正することを求める陳情（企画総務）

○生活者である市民の意向を市政運営、議会に的確に反映できる仕組みをより一層充実させるため「西東京市市民参加条例」条例23号（平成14年10月１日）と「西東京市市民参加条例施行規則」、「西東京市特別職報酬等審議会条例」の見直しを求める陳情（企画総務）

○広告収入に関する陳情（企画総務）

○住民投票に関する陳情（企画総務）

○特殊勤務手当に関する陳情（企画総務）

○市長の資産等報告書等の公開をより徹底するため、市長の資産等の公開に関する条例を改正することを求める陳情（企画総務）

○特別職報酬等の審議・答申に市民の意向を適切に反映できるよう審議会条例の改正を求める陳情（企画総務）

○議会改革に関する陳情（議会運営）

**継続審査となったもの**

○食料の自給力向上と、食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本改正について国への意見書提出を求める請願（文教厚生）

○西東京市議会議員の資産・所得等の公開条例の制定を求める陳情（企画総務）

○「日本軍『慰安婦』問題について、国が誠実な対応をするよう」意見書を提出することを求める陳情（企画総務）

○富士町福祉会館へのエレベーター設置に関する陳情（文教厚生）

○学内介助員制度に関する陳情（文教厚生）

○中学校の学内介助員制度に関する陳情（文教厚生）

○都市再生機構賃貸住宅への定期借家契約導入反対の意見書採択に関する陳情（建設環境）

○本会議の傍聴に関する陳情（議会運営）

## 今定例会で可決した意見書

**経済・金融不安から国民生活・雇用を守ることを求める意見書**

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、副総理・国家戦略担当大臣、財務大臣、経済産業大臣、厚生労働大臣、総務大臣、金融担当大臣、内閣官房長官

**国として直接地方の声を聞く仕組みを保障することを求める意見書**

【提出先】内閣総理大臣、副総理・国家戦略担当大臣、総務大臣、財務大臣、内閣官房長官、衆議院議長、参議院議長

**全校方式による全国学力・学習状況調査の継続を求める意見書**

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、副総理・国家戦略担当大臣、文部科学大臣、総務大臣、内閣官房長官

**核兵器廃絶へ、日本政府が積極的役割を果たすことを求める意見書**

【提出先】内閣総理大臣、外務大臣

**生活保護の老齢加算・母子加算の復活を求める意見書**

【提出先】内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長



## 用語の解説

**○救急医療情報キット**

高齢者や障害者などの安全・安心を確保するため、かかりつけ医や持病などの医療情報、薬剤情報提供書（写し）、診察券（写し）、健康保険証（写し）、本人の写真などの情報を専用の容器に入れ、自宅の冷蔵庫等に保管しておくことで、万一の救急時に備えるというもの。東京消防庁と港区が共同で考案し実施している。

**○小一プロブレム**

入学間もない小学１年生が、授業中に座っていられない、話を聞かないなど、集団行動が取れない状態が長く続く現象のこと。

**○地域活動情報ステーション**

西東京市が市民活動の支援及び活性化のために開いた公式ウエブサイト。西東京市を中心に活動している団体の活動内容、イベント等を紹介している。

**○ＢＰＲ**

Bisiness Process Re-engineeringの頭文字をとった略称。既存の組織や業務を抜本的に見直して、プロセスの視点で職務、業務フロー、機構、システムを再設計すること。

**○不明水**

給水管（上水道）の供給量と下水道（汚水排水）の排出量の差の水量をいう。

原因としては、下水道管の欠陥部分への雨水浸透水や地下水の流入、雨桶や側溝等の誤接続による雨水の流入などが考えられている。

不明水の発生によって、処理場への負荷が増大し、料金未収の水量が増大することにより、財政を圧迫する要因にもなっている。

**○上地**

私有地を行政に寄附すること。

**○優先整備路線**

東京都が平成18年４月に策定した「多摩地域における都市計画道路の整備方針（第三次事業化計画）」において、平成18年度から10年間で優先的に整備すべきとした路線のこと。162カ所、約135キロメートルが選定されている。



## お知らせ

**○第１回定例会の開催**

市議会第１回定例会は、２月26日（金）から開催する予定です。詳細については、定例会前に開催される議会運営委員会で決定しますので、決まり次第ホームページに掲載します。

**請願・陳情は2月19日までにご提出ください。**

請願・陳情はいつでも受け付けていますが、第１回定例会で審査を行うためには２月19日（金）までにご提出いただく必要があります。

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。

## 会議の開催状況

（平成21年10月～12月）

**10月**

1日　決算特別委員会
2日　決算特別委員会
5日　決算特別委員会
23日　文教厚生委員会
28日　議会報編集委員会

**11月**

9日　建設環境委員会
19日　議会運営委員会
30日　**第４回臨時会**・本会議（議案等上程～議決）、議会運営委員会

**12月**

1日　議会運営委員会
4日　**第４回定例会**・本会議（委員会審査報告～議決、議案等上程～付託）、予算特別委員会、議会報編集委員会
7日　本会議（一般質問）
8日　本会議（一般質問）
9日　本会議（一般質問）
10日　本会議（一般質問）
11日　企画総務委員会、建設環境委員会
14日　文教厚生委員会
15日　駅周辺再開発等特別委員会
16日　予算特別委員会
18日　議会運営委員会
24日　本会議（委員会審査報告、議員提出議案等上程～議決）、議会運営委員会

# 委員会視察報告（1）

## 委員会視察報告

各常任・特別委員会及び議会運営委員会では、他団体等における先進的な取り組み内容について調査研究することを目的として、各所管事項における先進団体の行政視察を行っています。

これまでは、紙面の制約から、視察日程・視察先、テーマなどの最小限の情報しかお知らせすることができませんでしたが、平成20年からは、12月定例会の結果等について発行する市議会だよりにおいて、特集記事としてお知らせすることとしました。

本号では、平成21年に行った各委員会の視察報告について掲載します（議会運営委員会は未実施）。

## 総務企画委員会

日程・視察先
7月14日　沖縄県浦添市
7月15日　沖縄県那覇市
参加議員数　9人
報告者　企画総務委員長
山崎　英昭

### 沖縄県浦添市

**「OSSを情報システムの基盤に採用するまでのプロセスと取組み」**

浦添市では、情報システムの効率化やセキュリティの確保などを目的として、早い時期からオープンソースとシンクライアントを積極的に導入してきた。

新システムを構築するに当たり、コンサルタントを活用して、徹底した業務分析を行い、業務プロセスの見直しを行った。これをもとに、職員とメーカーが協同でシステムをつくり上げたことで、従来の半分以下のコストで基幹系システムの構築ができた。

この業務マニュアルとシステムを他の自治体にも公開し、協同運用を考えている。

情報システムを考える上で、大変参考になった。

**「地域通貨『察度（さっと）』の実証実験について」**

浦添市では、平成18年6月、（財）地方自治情報センターの『地域通貨モデルシステムの開発実証事業』の公募に、男女共同参画事業『メンズキッチンデー』をテーマとして応募、採択され、実証実験を行った。

市内53事業者が参加した「察度」は、住基カードを活用し、ICカード内にポイントを蓄積して、地域通貨の管理を電子的に行った。

課題もあるが、一つの手法として参考にしたい。

### 沖縄県那覇市

**「NPO・市民活動支援について」**


那覇市での視察の様子

那覇市は平成元年に6千万円を公益信託して基金を設立し、「市民の力をつなげ、NPOが地域づくりに参画する社会」をテーマに、主に那覇市において住みやすいまちづくりを推進する市民活動団体に対して「那覇市NPO活動支援基金助成事業」を行っている。

NPO支援を考える上で参考としていきたい。

**「新庁舎建設について」**

那覇市庁舎は建築から43年あまりが経過し、老朽化や行政需要の増大などにより、平成18年に新庁舎建設に着手する運びとなった。

新庁舎基本構想審議会の答申に基づき、市民ワークショップやパブリックコメントを実施し、基本計画の策定に至った。

今後の庁舎のあり方を考える上で参考にしたい。

## 文教厚生委員会

日程・視察先
10月15日　愛媛県新居浜市
10月16日　愛媛県松山市
参加議員数　10人
報告者　文教厚生委員長
安斉　慎一郎

### 愛媛県新居浜市

**「夢広がる学校づくり推進事業」**

地域社会の実態に応じて学校、地域、家庭が三位一体で取り組む、5年目の事業であり、「地域に学校をどう開いていくか」を目的としている。

事業内容は、地域の歴史や特性を生かしながら各学校で事業計画を作成し、プレゼンテーションにより選定している。計画は学校が原案を作成するもの、地域から事業展開されるものなど、地域性により異なる。

市の単独事業で予算は400万円、プレゼンテーションの結果により、1校50万円を限度に各学校に配分している。不足分は学校管理費やPTA費から補充してもらう。近年の特色としては、「エコ活動」としての「グリーンカーテン事業」や「ごみの飼料化」等がある。

**「35人学級の実施状況とその効果」**

小学校は第1学年のすべて、2学年から6学年までは各学年100人を超える学校で35人の学級編成を行っている。中学校は各学年200人を超える学校で少人数学級編成としている。

効果は、○児童のつまずきの早期発見、早期対応ができた、○複数の教師で多面的に、児童の理解を図り指導することができた、○体育の授業で練習量が増え、技能向上が見られた、○社会科見学など、校外活動に多くの教師による引率が可能となり、安全がより確保できた、○きめ細かな指導により、基礎学力の定着で成果が出ている、などである。

### 愛媛県松山市

**「生活保護世帯の自立支援体制」**

平成21年度の人事異動により、ケースワーカーを26人増員し組織強化を図った。


松山市での視察の様子

増員の理由は、厚生労働省の監査、県の指導そして市長の判断による。

保護業務を担当ケースワーカー任せにせず、組織的に自立を支援する制度に転換することを目的に自立支援プログラムを導入した。就労支援、在宅要介護高齢者支援、退院促進支援、ひきこもり者支援、母子養育費請求等支援、多重債務者等支援、年金受給支援の7種の自立支援プログラムがある。

## 建設環境委員会

日程・視察先
6月30日　北海道恵庭市
7月1日　北海道札幌市
参加議員数　9人
報告者　建設環境委員長
小幡　勝己

### 北海道恵庭市

**「テクノパークと企業誘致・異業種交流について」**

恵庭市は、産業振興などを通じて、産・学・住の高度な複合化した技術文化機能都市を目指している。市内開発により260社が創業、中でも「恵庭テクノパーク」は全国で初めて土地信託方式を採用した工業団地で、各種の補助金を活用しながら、職住近接型のリサーチパークや産業集積型のテクノパークなど、企業誘致に大きな成果を上げてきた。

異業種交流については、市内の交流グループが主体となって独自に交流、研修会等も催し、数百社以上による異業種交流・技術交流を進め、ビジネスのさらなる拡大、技術のレベルアップを図っている。

西東京市は、昔からあった大手企業の撤退、縮小により法人税収も見込めない中で、中小企業の活性化等のために十分な配慮と支援が必要である。今後の取り組みに大変有意義な視察であった。


札幌市リサイクル団地の視察の様子

### 北海道札幌市

**「リサイクル事業（札幌市リサイクル団地）」**

札幌市が造成し、最先端の独自技術を持つ企業・団体が集結したリサイクル団地で、プラスチック等のリサイクル施設を視察した。

札幌市中沼プラスチック選別センターは、再資源化できる状態にするための施設で、選別されたプラスチックは、油化施設で油などにリサイクルされる。

また、ペットボトルフレーク化施設では、着色物などを機械選別で除去し、無着色ボトルの粉砕後、水洗脱水して白色のフレークにする。このフレークはペットボトルシート化施設に運ばれ、シートに成形・巻取り後、食品のパック（卵パック）等に加工される。これだけの規模の施設は、全国的に類を見ないという。

札幌市は、環境と調和したまちづくり建設のため、この7月1日からごみの有料化が開始された。

西東京市においても、ごみの有料化、戸別収集が実施され、検証も必要である。今こそ真剣にリサイクルによる長期的施策が必要であり、これからの事業にも大いに参考になる大変充実した視察であった。

西東京市 議会だより

# 委員会視察報告 (2)、お知らせ、アンケート

## 駅周辺再開発等特別委員会

日程・視察先
11月25日　三重県鈴鹿市
11月26日　愛知県北名古屋市
参加議員数　10人
報告者　駅周辺再開発等特別委員長
新井　五郎

### 三重県鈴鹿市

**「街路事業と小規模開発、まちづくり協定の連携事例」**

鈴鹿市の市街地は神戸・牧田・白子地区の3核構造で、神戸地区は古くは城下町として栄え、昭和17年市制施行以来、市の政治・経済・文化等の中心でした。

しかし、基盤整備の立ちおくれ等で中心市街地としての魅力が失われつつあったため、地区の再生を目的として、都市計画街路事業や商店街近代化事業等の具体化とともに、神戸地区市街地総合再生計画及び鈴鹿市特定商業集積整備基本構想の承認を受けて、中心市街地にふさわしい公共と民間協働型の街づくりを進めてきたとの説明を受け、成功例を視察しました。

### 愛知県北名古屋市

**「西春駅西土地区画整理事業について」**

北名古屋市は愛知県の北西部に位置し、名古屋市に隣接しており、市営地下鉄と相互乗り入れしている名鉄犬山線が通っているほか、名神高速一宮インターチェンジ、東名阪清洲インターチェンジ、県営名古屋空港にも近く、極めて利便性が高い地域です。

視察した地区は名鉄犬山線の西側、商業地域に位置し、駅と名古屋江南線を結ぶ西春停車場線沿道の商店街を区域とする3・16haで、歩行者と車が交差する幅員の狭い停車場線沿いに住宅と商店が混在している昔ながらの商店街です。

この地区は、市の「玄関口」としての役割が地域からも大いに期待されながら、駅前広場の未整備やこれに連結する道路体系が未整備なため、都市機能が低下し、老朽化した店舗や住宅が混在していて商業地としての魅力に欠ける不健全市街地であるため、市では都市基盤の整備・商業地の整備・交通体系の確立・居住環境の改善によって玄関口に相応しい街づくりを推進しているとの説明を受けました。

今回視察した両開発は、それぞれ昭和58年と59年に基本構想等ができており、住民合意を得ながら進めるのは時間がかかるものだと感じました。保谷駅南口地区の再開発事業、ひばりヶ丘駅北口地区の共同化事業も、完成に向け、委員会として鋭意努力してまいります。



北名古屋市での視察の様子

## 市議会だよりに関するアンケート

議会報編集委員会では、今後の市議会だよりの編集の参考とさせていただくため、市議会だよりに関するアンケートを実施することとしました。

市議会に関する情報を、より多くの方に、よりわかりやすく提供していきたいと考えておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

なお、回答は、下記に記載の上、平成 22 年 3 月 15 日（月）までに郵送、FAX にてお送りください（コピーや回答内容のみを記載したものでも結構です）。また、ホームページのアンケートフォームからもご回答いただけます。

**回答先**

郵　送：〒 188-8666（住所不要）西東京市議会事務局宛
ＦＡＸ：042-469-4058
E-Mail：gikai@city.nishitokyo.lg.jp
ホームページ（アンケートフォーム）：
http://www.city.nishitokyo.lg.jp/enq/index.html

**問１　市議会だよりを読んでいますか。**

□毎回読む　□ときどき読む　□ほとんど読まない　□読まない（⇒問３へ）

**問２　ご覧になる記事をお選びください。（複数回答）**

□１面　□代表・一般質問　□予算の審査　□委員会の審査　□議案の議決結果
□請願・陳情の結果　□意見書　□会議の開催状況　□編集後記
□その他（　　）

**問３　問２に掲げたもの以外に載せてほしい記事はありますか。**（自由記載）

□ある（　　）
□ない

**問４　市議会だよりは読みやすいですか。**

□読みやすい　□まあまあ読みやすい　□あまり読みやすくない　□読みにくい
(1) 文字量・情報量（□適切　□多すぎる　□少なすぎる）
(2) 文字の大きさ（□適切　□大きすぎる　□小さすぎる）
(3) 文章のわかりやすさ（□わかりやすい　□どちらともいえない　□わかりにくい）
(4) 写真・イラストの量（□適切　□多すぎる　□少なすぎる）
(5) 紙面の大きさ（□適切　□大きすぎる　□小さすぎる）

**問５　市議会だよりへの要望等自由にお書きください。**

**あなたについて**（任意回答）

**性別**　□男　□女
**年代**　□10歳未満　□10代　□20代　□30代　□40代　□50代　□60代　□70代以上
**職業**　□会社員　□公務員　□主婦　□学生　□その他（　　）

## 編集後記

２０１０年の新春を迎えいかがお過ごしでしょうか。本年、年男の私も田無神社に初詣に行ってきました。参拝に並ぶ行列は長く30分～１時間並ぶことになり、大変賑わいがあるように感じられました。しかしながら、駅前等の年末年始は例年よりも出歩く人の数が少ないように感じられ、昨今の経済状況を反映しているようでした。我々市議会議員も、議会活動・地域活動を通して、西東京市を賑わいのある住みやすい街にしていかなくてはと気持ちを新たにしたところです。

さて、私も編集委員になり約１年になります。この間、議会だよりをよりわかりやすいものにしようと努めて参りましたが、いかがでしょうか。皆様のご意見をお聞かせいただけたらと思います。

第１回定例会からは、本会議のインターネット配信が実施され、今年末には市議会議員選挙も予定されています。今後も、市議会にご注目ください。（Ｍ）

## 議会インターネット中継を始めます　～ご自宅から議会の様子をご覧いただけます～

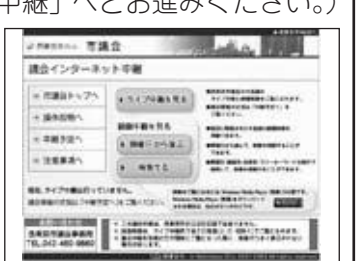
平成 22 年第１回定例会から、下記により市議会本会議の様子をインターネットで中継します。ライブ中継だけでなく、録画中継も行いますので、都合のいい時間にご覧いただけます。是非ご利用ください。

**○議会インターネット中継ホームページアドレス**
http://www.city.nishitokyo.lg.jp/sigikai/gikai_translate/index.html
（市のホームページからは「市議会」－「議会インターネット中継」へとお進みください。）

**○視聴可能時間**
・ライブ中継…議会本会議開催時
・録画中継…会議翌日の午後８時（会議翌日が土曜、日曜、祝日である場合は、その翌日）から次の定例会が始まるまでの終日（会議が夜間に及んだ場合は、公開開始が遅れる場合があります。）

**○問合せ先**　議会事務局庶務調査係（042-460-9860）

※ 議会中継の内容は、公式記録ではありません。公式記録については、会議録をご覧ください。



議会インターネット中継 TOP ページ